

別紙（５） 必要諸室特記事項等一覧表

| 部屋名称 | 広さ等 | 設備など |
|-------------|------------------------|--|
| 職員室 | 約 50 m ² 以上 | <ul style="list-style-type: none"> ● 職員 7 名の執務スペース。机や棚を配置予定（工事外調達）。 ● 給湯スペース（給水栓、給湯栓、電気コンロ等のシステムキッチン）を設置すること。 ● 壁面 1 か所に固定式のホーローホワイトボードを設置すること。 ● LAN 回線を設置すること。 ● 多機能電話 1 台を設置すること。 |
| 介護実習室 | 約 180 m ² | <ul style="list-style-type: none"> ● 生徒がベッドや和室での介護実習を行う部屋。ベッドは 10 台程度設置する予定（工事外調達）。 ● 部屋の端に畳ルームを配置。畳ルームは 8 畳とし、襖、障子等で仕切り、押し入れも設けること。 ● 実習用の設備として、電子黒板機能付きプロジェクター（WXGA 以上）、壁付けホワイトボード、有線・無線マイクでの授業が可能な放送設備、インターネット接続が可能な無線 LAN 設備、ベッドでの実習時に実習の様子を撮影する天井カメラ（1 台）及びそれを映し出す天井上部のモニター（4 台）及び映像での授業が可能なように映像再生機器を設置すること（工事対応）。 ● 手洗い場を設置すること。蛇口は 5 台（水、お湯が出る蛇口） ● 壁面に各種機材の収納が可能な棚を設置すること。 ● ベッドを置く場所の床面に電動ベッド等を利用するための電源を確保すること（10 カ所）。 ● ベッド数台の天井部分の一部に介護用移動リフト（吊り具を取り付けて運ぶもの）を取り付けること（2 レーン…各レーン 2 ベッド程度で利用）。 |
| 倉庫（介護実習準備室） | 約 70 m ² 以上 | <ul style="list-style-type: none"> ● 介護実習のための機材（医療的ケアの実習機材など）を保管する部屋。スチールラックを設置予定（工事外調達）。 ● リネンも保管し、リネンに関する研修も実施予定。 |

| | | |
|--------------------|--|---|
| <p>ソーシャルワーク室</p> | <p>約 90 m²</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 普通教室のような座学実習を行う部屋。机は 3 人掛けの会議テーブルを 15 台程度設置予定（工事外調達）。 ● 設備として、電子黒板機能付きプロジェクター、壁付けホワイトボード、有線・無線マイクでの授業が可能な放送設備、インターネット接続が可能な無線 LAN 設備、映像での授業が可能なように映像再生機器を設置すること（工事対応）。 ● 介護実習室を兼用できるように、ベッド設置位置の床面に電源を確保すること（6 か所）。また介護実習室と同様の天井モニターを設置すること（2 台）。 ● レクリエーション室と可動間仕切による一体的な利用ができるように計画すること。 |
| <p>レクリエーション室</p> | <p>約 170 m²</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 普通教室のような座学実習を行う部屋。机は 3 人掛けの会議テーブルを設置予定（工事外調達）。 ● 設備として、電子黒板機能付きプロジェクター、壁付けホワイトボード、有線・無線マイクでの授業が可能な放送設備、インターネット接続が可能な無線 LAN 設備、映像での授業が可能なように映像再生機器を設置すること（工事対応）。 |
| <p>男子更衣室／女子更衣室</p> | <p>約 60 m²</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 入浴実習の際に着替える更衣室。入浴準備室／入浴実習室と同じフロアに配置すること。 ● 女子更衣室の広さを男子更衣室よりも広めに配置すること。（4～5：1 程度） |
| <p>生徒相談室</p> | <p>約 25 m²</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 生徒と教師が 5 名程度入って懇談出来る部屋。テーブルと椅子を配置予定（工事外調達）。 ● LAN 回線を設置すること。 |
| <p>入浴準備室／入浴実習室</p> | <p>約 150 m²（準備室 50 m²／実習室 100 m²）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 入浴介護実習を行う部屋。 ● 入浴準備室では、ストレッチャーを置き、脱衣の実習を予定。入浴実習室での研修後に着衣実習も行うため、内部はタイル張りとするとともに、床面の防水、排水口の確保を行うこと。備品としてスチールラック及び洗濯乾燥機を設置予定（工事外調達）。洗濯乾燥機が設置できるよう給排水設備を配置すること。また、手洗い場を設置すること。蛇口は 5 台（水、お湯が出る蛇口） ● 入浴実習室では、シャワー介護、入浴介護の実習 |

| | | |
|-----|---|---|
| | | <p>を予定。実際にお湯を使った実習を行うため、内部はタイル張りとするとともに、床面の防水、排水口の確保を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入浴実習室には、介護座椅子に座る想定をした高さのシャワー設備を 7 台配置し、正面に鏡を配置すること。 ● 入浴実習室には、壁面沿いに家庭用浴槽 1 台を設置すること。給排水を完備し、実際に入浴できる設備とすること（お湯が出るようにすること）。 ● 入浴実習室には、壁面沿いに日常生活動作（ADL）での座位入浴が可能な浴槽 1 台を設置すること。給排水を完備し、実際に入浴できる設備とすること（お湯が出るようにすること）。 ● 入浴実習室には、部屋の中央部に寝たままで入浴できる機械浴槽 1 台を設置すること。給排水を完備し、実際に入浴できる設備とすること（お湯が出るようにすること）。 ● 入浴実習室には、部屋の端に車いすのまま入浴できるスロープ付きの大浴場を設置すること。給排水を完備し、実際に入浴できる設備とすること（お湯が出るようにすること）。 ● 入浴実習室の天井の一部に、移動用リフト（吊り具を取り付けて運ぶもの）を取り付けること（家庭用浴槽部分若しくは座位入浴浴槽部分）。 ● 入浴実習室／入浴準備室は湿式工法とすること。 |
| その他 | — | <ul style="list-style-type: none"> ● 空調は全室に配備すること。 ● 消防用として全館放送設備、自火報装置を既存設備に加えて配備すること。 ● EVを1台配備すること。寝台用の広さとすること。 ● 1F部分は正門からプール側にポンプ車が通り抜け可能な通路を、自転車置き場側には一般車両が通行可能な通路を確保しつつ必要所室を配置すること。 ● 2F部分を本校舎2F渡り廊下に繋ぐこと。本校舎渡り廊下とは構造を別とした自立方式とし、エキスパンションジョイントで繋ぐこと。通路幅は2m以上とすること。 ● 3Fもしくは4F建てとし、延床面積は1,170㎡以上1,500㎡未満の幅でよりコンパクトなものを目 |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>指すこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運動場に面した窓には、野球の硬球衝突による窓割れ・飛散防止対策（フェンス設置等）を行うこと。 ● 2階以上の階に男女トイレを設置すること。うち、ワンフロアには独立した車椅子利用者便房を2室設置すること。トイレの便器数は40名が支障なく利用できる程度の数を可能な範囲で確保すること。 ● 男女更衣室を除き、各部屋に電話設備を配備すること。（職員室は5回線以上） ● 廊下、階段、EV内には手すりを設置すること。 ● 機械警備及び通信設備の外部からの取り込みルートを確保すること。 |
|--|--|---|

- 福祉の実習棟であるということを考慮したデザインの意匠を提案すること。
- 設計途中で外観および内観のパースを作成し、外壁、壁紙や床材、天井等内装の色・材質などの協議を実施すること。